

[016]九州大学低温センターだより表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4795527>

出版情報：九州大学低温センターだより. 16, 2022-03. Low Temperature Center, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

低温センター長 木村 崇

2021年度の低温センターの活動を報告すべく、最新の低温センターだよりをお届けいたします。本年度も新型コロナによる行動制限の期間が長くなりましたが、寒剤ユーザーの皆様のご協力とセンター職員、及び配送業者様のご協力により、滞りなく寒剤供給ができましたこと、改めてお礼申し上げます。

ご承知のとおり、寒剤の用途は大変広範であり、九州大学においても、多くの部局で利用いただいております。病院キャンパスに導入させて頂いた液体窒素自動供給システムにおいても、利用が浸透しつつあり、期待していた当初計画通りの運営がなされております。願わくば、筑紫キャンパスの寒剤利用者の皆様にも、本センターが何らかの形で支援できるような体制を構築できればと考えております。それに直接的に関係しているわけではないですが、本号では、総理工学研究院の吉武教授の共同研究者であります久留米高専の堺先生に、研究トピックスへの寄稿を頂きました。本だよりの趣旨には、寒剤ユーザー間の研究テーマを知ることでもあり、何らかの形で共同研究等の橋渡しにつながるようなことがありますと幸いに存じます。是非、皆様からも、紹介したい内容などありましたら、お知らせください。これらに限らず、寒剤関係でご要望がありましたら、是非、お気軽に本センターにお問い合わせください。

次に残念なお知らせで恐縮ですが、毎年、概算要求等を通じて、申請しているヘリウム液化機などの大規模設備の増強・更新であります。本年度も要求が通りませんでした。センター長として責任を痛感している所存です。これらの導入に関しては、各部局との連携の強化が必須と考えております。今後ともご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

最後になりますが、環境安全衛生推進室の教授として、本学の高圧ガス等の安全管理などの取りまとめとして、本センターの運営にも多大なご協力いただきました吉田茂教授が本年度をもって退職となります。4年間という比較的短い期間でしたが、先生のバイタリティ溢れる行動力で、関連の整備は大きく進展しました。本号には、吉田先生に最後ご寄稿を頂きました。是非、ご一読頂ければと思います。また、私のセンター長としての任期は今年度までとなり、次年度からは、システム情報科学研究院の木須教授が再び就任されます。これにより、センターの益々の発展が期待できます。引き続き、低温センターを大いにご活用いただき、皆様の研究の発展に貢献させて頂きたい次第でございます。